

## 設 置 計 画 の 概 要

							事前伺い			
大学の名称	山 梨 大 学				計画の区分		研究科の専攻設置			
新 設 学 部 等 の 状 況 ( 学 年 進 行 終 了 時 に お け る 状 況 )										
学部等の名称	学科等の名称	入学定員	編入学定員	収容定員	授与する学位等		開設年度	専任教員		
					学位又は称号	学位又は学科の分野		異動元	助教以上	うち教授
医学工学総合教育部	応用化学専攻 (修士課程)	30		60	修士(工学)	工学関係	平成20年度	物質・生命工学専攻 自然機能開発専攻	11 8	7 4
	生命工学専攻 (修士課程)	22		44	修士(工学)	工学関係	平成20年度	物質・生命工学専攻 自然機能開発専攻	10 6	5 3
既 設 学 部 等 の 状 況 ( 現 在 の 状 況 )										
学部の名称	学科の名称	入学定員	編入学定員	収容定員	授与する学位等		開設年度	異動先	専任教員	
					学位又は称号	学位又は学科の分野			助教以上	うち教授
医学工学総合教育部	物質・生命工学専攻 (修士課程) (廃止)	30		60	修士(工学)	工学関係	平成15年度	応用化学専攻 生命工学専攻	11 10	7 5
	自然機能開発専攻 (修士課程)	37		74	修士(工学)	工学関係	平成15年度	応用化学専攻 生命工学専攻 自然機能開発専攻	8 6 10	4 3 7
	機械システム工学専攻 (修士課程)	36		72	修士(工学)	工学関係	平成15年度	機械システム工学専攻	24	14
	電気電子システム工学専攻 (修士課程)	27		54	修士(工学)	工学関係	平成15年度	電気電子システム工学専攻	18	10
	コンピュータ・メディア工学専攻 (修士課程)	30		60	修士(工学)	工学関係	平成15年度	コンピュータ・メディア工学専攻	20	11
	土木環境工学専攻 (修士課程)	27		54	修士(工学)	工学関係	平成15年度	土木環境工学専攻	18	10
	持続社会形成専攻 (修士課程)	30		54	修士(工学) 又は 修士(学術)	工学関係	平成17年度	持続社会形成専攻	17	10
【備考欄】										
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然機能開発専攻は、平成20年度から入学定員を37名→15名に減</li> <li>・持続社会形成専攻の入学定員と収容定員は、1年間の修士課程短期特別コース（6名）を含む</li> </ul>										



# 教 育 課 程 等 の 概 要

(大学院医学工学総合教育部 応用化学専攻)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
	有機機器分析特論第一	1・2		2		○			1					
	有機物質化学特論第一	1・2		2		○			1					
	無機機器分析特論	1・2		2		○			1					
	有機物質化学特論第二	1・2		2		○			1					
	高分子材料化学特論第二	1・2		2		○			1					
	結晶材料工学特論	1・2		2		○			1					
	機能性材料開発特論	1・2		2		○			1					
	無機材料化学特論	1・2		2		○				1				
	有機機器分析特論第二	1・2		2		○				1				
	誘電体特論	1・2		2		○				1				
	高分子材料化学特論第一	1・2		2		○				1				
	クリーンエネルギー変換工学特論	1・2		2		○								
	応用電気化学特論第一	1・2		2		○			1					
	機能性セラミックス特論第一	1・2		2		○			1					
	燃料電池設計科学特論第一	1・2		2		○			1					
	応用電気化学特論第二	1・2		2		○			1					
	分離化学特論	1・2		2		○				1				
	金属錯体化学特論	1・2		2		○				1				
	燃料電池設計科学特論第二	1・2		2		○				1				
	量子材料システム工学特論	1・2		2		○								
	機能性セラミックス特論第二	1・2		2		○				1				
	科学特論	1・2		2		○								
	研究発表特論Ⅰ	1・2		2				○						
	研究発表特論Ⅱ	1・2		2				○						
	インターンシップ	1・2		2				○						
	応用化学演習第一A	1	1					○						
	応用化学演習第一B	1	1					○						
	応用化学演習第二A	2	1					○						
	応用化学演習第二B	2	1					○						
	応用化学研究第一A	1	2			○								
	応用化学研究第一B	1	2			○								
	応用化学研究第二A	2	3			○								
	応用化学研究第二B	2	3			○								
合計 (33科目)		-	14	50		-			11	8				
学位又は称号		修士 (工学)		学位又は学科の分野			工学関係							
設 置 の 趣 旨 ・ 必 要 性														
<p>I 設置の趣旨・必要性</p> <p>1 物質工学及び生命工学における急速な進歩により両分野を包含する「物質・生命工学科」の教育内容は極めて多彩で広範囲なものとなったため、当該学科の特色及び専門性を明確にする必要があったことから、平成16年4月、同学科を「応用化学科」と「生命工学科」に改組した。両学科卒業生が大学院生となる平成20年度にあわせ、修士課程も再編し、「応用化学専攻」と「生命工学専攻」を設置するものである。（「物質・生命工学専攻」を廃止）</p> <p>2 この際本専攻では、専門領域における独創的かつ先端的な学術研究を通して専門分野における理論と研究に関する基礎的な専門知識を得、更に専門性を要する職業等に必要の高度な应用能力を養い、社会に貢献できる独創的な発想力に富む専門技術者の育成を行うために、学部・修士課程一貫教育の実現により大学院教育の実質化を図る。</p> <p>II 教育課程編成の考え方・特色</p> <p>1 学部・修士課程の一貫教育におけるカリキュラムを編成し、学部教育では、基礎学力を向上させるため、基礎科目及び専門基礎科目に重点を置き、専門教育課程と位置つけた修士課程では、応用物理化学、無機材料化学、有機材料化学、高分子材料化学および機器分析化学などに関する専門知識を習得させる。（裏面に続く）</p>														

2 応用化学分野は、新素材、エネルギー、環境などの21世紀における人類の発展と繁栄に貢献する最も重要な学問分野である。この学問分野において学部・修士課程の一貫教育により基礎および専門知識を習得させ、さらに、独創的かつ先端的な学術研究を通して的確な問題解決能力と応用力、創造力及び深い洞察力を養い、国際的センスをも備えた、産業の持続的発展と人類の福祉に貢献できる発想力の豊かな高度技術者および研究者を養成する。

修了要件及び履修方法	授業期間等	
本課程に2年以上在学し、必修として演習：4単位、研究：10単位、選択として講義・インターンシップ：16単位以上 合計30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。	1 学年の学期区分	2 期
	1 学期の授業期間	15 週
	1 時限の授業時間	90 分

# 教 育 課 程 等 の 概 要

(大学院医学工学総合教育部 生命工学専攻)

コース	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
生命機能工学	微生物遺伝学特論	1・2		2		○			1						
	酵素工学特論	1・2		2		○			1						
	細胞観察法特論	1・2		2		○			1						
	培養工学特論	1・2		2		○			1						
	ゲノム解析学特論	1・2		2		○			1						
	生体物質論特論	1・2		2		○				1					
	生体環境論特論	1・2		2		○				1					
	生体反応特論	1・2		2		○				1					
	バイオリクター特論	1・2		2		○				1					
	生物有機化学特論	1・2		2		○				1					
	小計(10科目)	—		20					5	5					
ワイン総合科学	有用微生物工学特論	1・2		2		○			1						
	植物栽培生理学特論	1・2		2		○			1						
	食品成分利用学特論	1・2		2		○			1						
	微生物資源工学特論	1・2		2		○				1					
	生物機能分析学特論	1・2		2		○				1					
	植物分子生物学特論	1・2		2		○				1					
	基礎ワイン醸造学特論	1・2		1		○									●
	基礎ブドウ栽培学特論	1・2		1		○									●
	基礎ワイン評価学特論Ⅰ	1・2		1		○									●
	基礎ワイン評価学特論Ⅱ	1・2		1		○									●
	基礎甲州ワイン学特論	1・2		1		○									●
	基礎ワイナリー経営学特論	1・2		1		○									●
	基礎ワイン・ブドウ学実習 ※1	1・2		1							○				●
	ワイナリーインターンシップ ※1	1・2		2							○				●
	小計(14科目)	—		21					3	3					
※1は拠点ワイン科学コースのみ開講 ●は、拠点ワイン科学コースの必修科目(拠点教員による集中講義)															
共通科目	科学特論	1・2		2		○									
	技術経営システム特論	1・2		2		○									
	研究発表特論Ⅰ	1・2		2						○					
	研究発表特論Ⅱ	1・2		2						○					
	インターンシップ(拠点ワイン科学コースは除く)	1・2		2						○					
	生命工学演習第一A	1	1							○					
	生命工学演習第一B	1	1							○					
	生命工学演習第二A	2	1							○					
	生命工学演習第二B	2	1							○					
	生命工学研究第一A	1	2				○								
	生命工学研究第一B	1	2				○								
	生命工学研究第二A	2	3				○								
	生命工学研究第二B	2	3				○								
	小計(13科目)	—	14	10											
合計(37科目)		—	14	51					8	8					
学位又は称号	修士(工学)			学位又は学科の分野				工学関係							
設 置 の 趣 旨 ・ 必 要 性															
<p>I 設置の趣旨・必要性</p> <p>1 物質工学及び生命工学における急速な進歩により両分野を包含する「物質・生命工学科」の教育内容は極めて多彩で広範囲なものとなったため、当該学科の特色及び専門性を明確にする必要があったことから、平成16年4月、同学科を「応用化学科」と「生命工学科」に改組した。両学科卒業生が大学院生となる平成20年度にあわせ、修士課程も再編し、「応用化学専攻」と「生命工学専攻」を設置するものである。(「物質・生命工学専攻」を廃止)</p> <p>2 この際本専攻では、専門領域における独創的かつ先端的な学術研究を通して専門分野における理論と研究に関する基礎的な専門知識を得、更に専門性を要する職業等に必要な高度な応用能力を養い、社会に貢(裏面に続く)</p>															

献できる独創的な発想力に富む専門技術者の育成を行うために、学部・修士課程一貫教育の実現により大学院教育の実質化を図る。

## II 教育課程編成の考え方・特色

- 1 学部・修士課程の一貫教育におけるカリキュラムを編成し、学部の教育課程で修得した分類学、生化学、遺伝学、分子生物学および培養工学等を基礎に生命機能工学、ワイン科学の各専門領域における先端的な研究を通して各分野における理論と研究に関する高度な専門知識を教育する。
- 2 バイオテクノロジーは環境、エネルギー、食糧、健康といったグローバルな課題を抱えており、またワイン科学は国際性が極めて高い分野であることから、国内のみでなく国際的にも通用し、情報収集能力と発表能力をもった技術者、研究者を養成する。

修了要件及び履修方法	授業期間等	
本課程に2年以上在学し、必修として演習・研究を14単位（拠点ワイン科学コースは演習・研究・講義・実習・ワイナリーインターンシップを23単位）、選択として講義・インターンシップを16単位以上（拠点ワイン科学コースは講義を7単位以上）、合計30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。なお、講義については生命機能工学コースならびにワイン総合科学コースのいずれの授業科目も履修できる。	1 学年の学期区分	2 期
	1 学期の授業期間	15 週
	1 時限の授業時間	90 分

# 教 育 課 程 等 の 概 要

(大学院医学工学総合教育部 物質・生命工学専攻)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
	有機機器分析特論第一	1・2		2		○			1						
	有機物質化学特論第一	1・2		2		○			1						
	反応動力学特論	1・2		2		○									
	無機機器分析特論	1・2		2		○			1						
	有機物質化学特論第二	1・2		2		○			1						
	高分子材料化学特論第二	1・2		2		○			1						
	無機材料化学特論第一	1・2		2		○				1					
	無機材料化学特論第二	1・2		2		○				1					
	有機機器分析特論第二	1・2		2		○				1					
	誘電体特論	1・2		2		○				1					
	高分子材料化学特論第一	1・2		2		○				1					
	生体適合性無機材料化学特論	1・2		2		○									
	応用電気化学特論第一	1・2		2		○			1						
	機能性セラミックス特論第一	1・2		2		○			1						
	応用電気化学特論第二	1・2		2		○									
	分離化学特論	1・2		2		○									
	金属錯体化学特論	1・2		2		○									
	機能性セラミックス特論第二	1・2		2		○									
	培養工学特論	1・2		2		○			1						
	微生物遺伝学特論	1・2		2		○			1						
	酵素工学特論	1・2		2		○			1						
	細胞観察法特論	1・2		2		○			1						
	生体物質論特論	1・2		2		○			1	1					
	生体環境論特論	1・2		2		○				1					
	バイオリアクター特論	1・2		2		○				1					
	バイオビジネス特論	1・2		2		○				1					
	生体反応特論	1・2		2		○				1					
	科学特論	1・2		2		○									
	技術経営システム特論	1・2		2		○									
	研究発表特論 I	1・2		2				○							
	研究発表特論 II	1・2		2				○							
	インターンシップ	1・2		2				○							
	物質・生命工学演習第一A	1	1					○							
	物質・生命工学演習第一B	1	1					○							
	物質・生命工学演習第二A	2	1					○							
	物質・生命工学演習第二B	2	1					○							
	物質・生命工学研究第一A	1	2			○									
	物質・生命工学研究第一B	1	2			○									
	物質・生命工学研究第二A	2	3			○									
	物質・生命工学研究第二B	2	3			○									
合計(40科目)		—	14	64				—	12	9					
学位又は称号	修士(工学)	学位又は学科の分野			工学関係										

# 教 育 課 程 等 の 概 要

(大学院医学工学総合教育部 自然機能開発専攻)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
	計算力学特論	1・2		2		○			1					
	マイクロ材料加工学特論	1・2		2		○				1				
	散乱理論特論	1・2		2		○			1					
	燃料電池設計科学特論	1・2		2		○								
	量子化学特論	1・2		2		○								
	結晶材料工学特論	1・2		2		○								
	量子材料システム工学特論	1・2		2		○								
	広域環境計測特論	1・2		2		○			1					
	応用交通環境計画特論	1・2		2		○			1					
	都市システム設計特論	1・2		2		○			1					
	応用環境評価特論	1・2		2		○				1				
	生物機能分析学特論	1・2		2		○								
	植物分子生物学特論	1・2		2		○								
	微生物資源工学特論	1・2		2		○								
	画像評価分析特論	1・2		2		○				1				
	非破壊計測診断工学特論	1・2		2		○								
	クリーンエネルギー変換工学特論	1・2		2		○								
	機能性材料開発特論	1・2		2		○								
	地球水環境システム特論	1・2		2		○			1					
	都市人間環境学特論	1・2		2		○			1					
	植物栽培生理学特論	1・2		2		○								
	有用微生物工学特論	1・2		2		○								
	特別講義特論第一	1・2		1		○								
	特別講義特論第二	1・2		1		○								
	科学特論	1・2		2		○								
	技術経営システム特論	1・2		2		○								
	インターンシップ	1・2		2				○						
	自然機能開発演習第一A	1	1					○						
	自然機能開発演習第一B	1	1					○						
	自然機能開発演習第二A	2	1					○						
	自然機能開発演習第二B	2	1					○						
	自然機能開発研究第一A	1	2			○								
	自然機能開発研究第一B	1	2			○								
	自然機能開発研究第二A	2	3			○								
	自然機能開発研究第二B	2	3			○								
合計（35科目）		—	14	52				—	7	3				
学位又は称号	修士（工学）	学位又は学科の分野			工学関係									

## 教 育 課 程 等 の 概 要

(大学院医学工学総合教育部 機械システム工学専攻)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
	振動騒音制御特論	1・2		2		○			1	1					
	バイオメカニクス特論	1・2		2		○			1						
	伝熱工学特論	1・2		2		○			1						
	流体工学特論	1・2		2		○			1	1					
	粘性流体特論	1・2		2		○			1						
	光学機器特論	1・2		2		○			1						
	材料物性物理特論	1・2		2		○				1					
	マイクロデバイス特論	1・2		2		○				1					
	レーザー工学特論	1・2		2		○				1					
	材料工学特論	1・2		2		○				1					
	マイクロ材料科学特論	1・2		2		○				1					
	精密加工工学特論	1・2		2		○			1						
	制御工学特論	1・2		2		○			1						
	油空圧工学特論	1・2		2		○			1						
	ロボット工学特論	1・2		2		○				1					
	計測工学特論	1・2		2		○				1					
	生産工学特論	1・2		2		○			1						
	図形工学特論	1・2		2		○			1						
	シミュレーション工学特論	1・2		2		○			1						
	トライボロジー特論	1・2		2		○			1						
	科学特論	1・2		2		○									
	超音波工学特論	1・2		2		○				1					
	ロバスト制御特論	1・2		2		○			1						
	技術経営システム特論	1・2		2		○									
	機械システム工学演習第一A	1	1					○							
	機械システム工学演習第一B	1	1					○							
	機械システム工学演習第二A	2	1					○							
	機械システム工学演習第二B	2	1					○							
	機械システム工学研究第一A	1	2			○									
	機械システム工学研究第一B	1	2			○									
	機械システム工学研究第二A	2	3			○									
	機械システム工学研究第二B	2	3			○									
合計 (32科目)		—	14	48				—	14	10					
学位又は称号	修士 (工学)	学位又は学科の分野			工学関係										

# 教 育 課 程 等 の 概 要

(大学院医学工学総合教育部 電気電子システム工学専攻)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
	代数学特論	1・2		2		○			1	1				
	解析学特論	1・2		2		○				1				
	プラズマ工学特論	1・2		2		○			1					
	熱統計学特論	1・2		2		○			1					
	電磁波理工学特論	1・2		2		○			1					
	光波工学特論	1・2		2		○			1					
	信号処理特論	1・2		2		○				1				
	電子回路特論	1・2		2		○				1				
	デジタル回路特論	1・2		2		○			1					
	量子デバイス特論	1・2		2		○				1				
	情報システム特論	1・2		2		○				1				
	センサー工学特論	1・2		2		○								
	ナノデバイス工学特論	1・2		2		○			1					
	半導体デバイス工学特論	1・2		2		○			1					
	通信デバイス工学特論	1・2		2		○				1				
	ヒューマンインタフェース工学特論	1・2		2		○			1	1				
	結晶工学特論	1・2		2		○			1					
	特別講義特論第一	1・2		1		○								
	特別講義特論第二	1・2		1		○								
	科学特論	1・2		2		○								
	技術経営システム特論	1・2		2		○								
	インターンシップ	1・2		2				○						
	電気電子システム工学演習第一A	1	1					○						
	電気電子システム工学演習第一B	1	1					○						
	電気電子システム工学演習第二A	2	1					○						
	電気電子システム工学演習第二B	2	1					○						
	電気電子システム工学研究第一A	1	2			○								
	電気電子システム工学研究第一B	1	2			○								
	電気電子システム工学研究第二A	2	3			○								
	電気電子システム工学研究第二B	2	3			○								
合計 (30科目)		—	14	42				—	10	8				
学位又は称号	修士 (工学)	学位又は学科の分野				工学関係								

# 教 育 課 程 等 の 概 要

(大学院医学工学総合教育部 コンピュータ・メディア工学専攻)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
	情報数理セキュリティ特論	1・2		2		○				2					*
	統計的学習特論	1・2		2		○				1	1				*
	インタラクション設計特論	1・2		2		○				1	1				*
	大規模数値計算特論	1・2		2		○					1				*
	ソフトウェア開発工学特論	1・2		2		○				1	1				*
	並列分散システム特論	1・2		2		○				1	1				*
	意味的多メディア処理特論	1・2		2		○				2					*
	インターネット工学特論	1・2		2		○									*
	感覚情報メディア処理特論	1・2		2		○				1	1				*
	画像メディア処理特論	1・2		2		○				1	1				*
	人工知能特論	1・2		2		○				1	1				*
	言語メディア処理特論	1・2		2		○					1				*
	ユビキタスコンピューティング特別講義特論 I	1・2		1		○									
	ユビキタスコンピューティング特別講義特論II	1・2		1		○									
	エンタープライズコンピューティング特別講義特論I	1・2		1		○									
	エンタープライズコンピューティング特別講義特論II	1・2		1		○									
	知的メディアコンピューティング特別講義特論I	1・2		1		○									
	知的メディアコンピューティング特別講義特論II	1・2		1		○									
	科学特論	1・2		2		○									
	技術経営システム特論	1・2		2		○									
	インターンシップ	1・2		2					○						
	コンピュータ・メディア工学演習第一A	1	1					○							
	コンピュータ・メディア工学演習第一B	1	1					○							
	コンピュータ・メディア工学演習第二A	2	1					○							
	コンピュータ・メディア工学演習第二B	2	1					○							
	コンピュータ・メディア工学研究第一A	1	2			○									
	コンピュータ・メディア工学研究第一B	1	2			○									
	コンピュータ・メディア工学研究第二A	2	3			○									
	コンピュータ・メディア工学研究第二B	2	3			○									
本専攻の学生は、ユビキタスコンピューティング、エンタープライズコンピューティング、知的メディアコンピューティングの3つのトラックの中から一つを選択し、トラックごとに定められた必修科目及び選択必修科目を修得しなければならない。備考欄の「*」は、当該対象科目であることを示す。															
合計（29科目）			—	14	36				—	11	9				
学位又は称号		修士（工学）		学位又は学科の分野					工学関係						

# 教 育 課 程 等 の 概 要

(大学院医学工学総合教育部 土木環境工学専攻)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
	構造力学特論	1・2		2		○					1				
	構造設計学特論	1・2		2		○					1				
	土質力学特論	1・2		2		○					1				
	土質工学特論	1・2		2		○					1				
	建設材料学特論	1・2		2		○					1				
	コンクリート構造学特論	1・2		2		○					1				
	応用水理学特論	1・2		2		○					1				
	水工システム設計特論	1・2		2		○					1				
	都市計画特論	1・2		2		○					1				
	環境計画特論	1・2		2		○					1				
	景観工学特論	1・2		2		○					1				
	衛生工学特論	1・2		2		○					1				
	水質管理工学特論	1・2		2		○					1				
	環境化学特論	1・2		2		○					1				
	物質動態論特論	1・2		2		○					1				
	環境生物学特論	1・2		2		○					1				
	水処理工学特論	1・2		2		○					1				
	環境熱学特論	1・2		2		○					1				
	環境数理解析特論	1・2		2		○					1				
	工学数理解析特論	1・2		2		○					1				
	技術経営システム特論	1・2		2		○					1				
	科学特論	1・2		2		○					1				
	インターンシップ	1・2		2					○						
	特別講義特論第一	1・2		1		○									
	特別講義特論第二	1・2		1		○									
	土木環境工学演習第一A	1	1						○						
	土木環境工学演習第一B	1	1						○						
	土木環境工学演習第二A	2	1						○						
	土木環境工学演習第二B	2	1						○						
	土木環境工学研究第一A	1	2			○									
	土木環境工学研究第一B	1	2			○									
	土木環境工学研究第二A	2	3			○									
	土木環境工学研究第二B	2	3			○									
合計 (33科目)		—	14	48		—			10	8					
学位又は称号	修士 (工学)	学位又は学科の分野			工学関係										

# 教 育 課 程 等 の 概 要

(大学院医学工学総合教育部 持続社会形成専攻)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
	持続社会形成特論	1・2	2			○			1						
	地域システム解析特論	1・2		2		○			1						
	環境経営特論	1・2		2		○				1					
	環境政治学特論	1・2		2		○				1					
	生命社会特論	1・2		2		○			1						
	環境モデリング特論	1・2		2		○			1						
	散逸構造論特論	1・2		2		○			1						
	環境物理化学特論	1・2		2		○			1						
	環境化学特論	1・2		2		○				1					
	環境数理解析特論	1・2		2		○				1					
	エネルギー政策特論	1・2		2		○				1					
	環境現象学特論	1・2		2		○			1						
	地域公共政策特論	1・2		2		○				1					
	環境政策論特論	1・2		2		○			1						
	地域社会特論	1・2		2		○				1					
	科学技術史特論	1・2		2		○									
	シミュレーション科学特論	1・2		2		○			1						
	群集生態学特論	1・2		2		○			1						
	技術経営システム特論	1・2		2		○									
	科学特論	1・2		2		○									
	インターンシップ	1・2		2				○							
	持続社会形成演習第一A	1	1					○							
	持続社会形成演習第一B	1	1					○							
	持続社会形成演習第二A	1・2	1					○							
	持続社会形成演習第二B	1・2	1					○							
	持続社会形成研究第一A	1	2			○									
	持続社会形成研究第一B	1	2			○									
	持続社会形成研究第二A	1・2	3			○									
	持続社会形成研究第二B	1・2	3			○									
合計 (29科目)		—	16	40				—	10	7					
学位又は称号		修士(工学)又は修士(学術)		学位又は学科の分野				工学関係							